

# ◆ 学校教育ビジョン実現に向けて！

**「学び・教える」ことは 本来は楽しいこと！**  
 (学力観を転換し、「学力の向上」を目指す！)



**創意工夫にあふれ、「感動」をともにする教育**

(Educational Philosophy)

**本物の「楽しさ」が 感謝・自信・プライドを育む！**

- ◆ 「チーム深谷中」の主役は生徒！  
 (子どもたちが学校を創っていく → 「受け身」から「主体」への転換)
- ◆ 子どもたちに「高い期待をあたたく抱く！」  
 (大人の本気が問われている！ → 「大人の本気」は必ず伝わる！)
- ◆ 「チームで活動する教師(大人)」は学びのモデルであり先導者！
- ◆ 最強の教師集団を創る！(プロフェッショナル集団を全員で創る！)  
 (チーム力とチーム・モチベーションの維持)  
 (「学習する組織」の構築)

**中学校は**

自己認知力の育成

**「生徒が将来自立するための基礎を学ぶ場」**

# ◆ 学校教育ビジョン実現に向けて！

## 「中学生としての3年間」は大人への基礎作り！

### ◆ 深中改善プロジェクト

- ・「制服の着崩しや身だしなみ」の見直し  
(昨年3年生が修学旅行や、高校受検で気づいたこと)  
(校則の見直し → やるべきことをやれる生徒を育てたい)
- ・生徒会の取組 「自律」  
(あいさつが埼玉一の学校)  
(あいさつはすべての基本:朝、登校時、帰宅時、就寝時etc)

### ◆ 3年後、10年後の子どもの姿を見据えて

- ・子どもの長所を見つけ、良さに気づかせ、それを伸ばす！  
(学習面、芸術面、運動面、リーダー性、やさしさ、努力家)
  - ・学力がすべてではありません
  - ・長所を伸ばし、自信をつけてあげましょう
- ・課題やトラブルは「子どもを成長させるチャンス」
  - ・課題やトラブルを自分(親)の問題ととらえない  
(思春期特有の問題:自我の目覚め、非行問題傾向etc)
  - ・「どう乗り越えさせるのか」を考え支援していく  
(親の一方的な指導や指示では納得しない年代)
- ・しかり方、ほめ方の術を磨く！
  - ・中学生は、叩いても親の言いなりにはなりません  
(子どもの成長と一緒に「親」も成長していく姿勢で)
  - ・間違った行動は「しっかりと本気で叱る」(怒るのではない)
  - ・「抱えて愛情を込めてしっかりと叱る」
- ・家庭を「子どもの安全基地」にする
  - ・家庭円満(子どもの心が安定する)
  - ・暴力的なしつけはしない  
(暴力でしか解決する方法を知らない子どもに育てない)
  - ・早寝、早起き、朝ご飯(脳を目覚めさせる)
  - ・話さなくなる年代の子どもと話す努力を！  
(承認の欲求を満たす)
  - ・外出時の行動や携帯の使い方に関心を持つ

**学校と家庭は「子どもの成長」への協働者！**